

「父母について」

平成20年9月6日

西東京本部 浜田山支部 上村健

僕は父と姉と一緒に空手に入りました。父はいつも「習う時は真剣にやろう」と言っていました。最初は辛かったけど皆でがんばりました。十級の審査の時には、姉は金メダルを取り、僕と父は優秀選手に選ばれました。このとき僕は初めて空手をやってよかったなと思います。僕も僕の級があがるたびに喜んでくれました。そのためにも一生懸命やろうと思います。しかし父と母は僕が練習で遊んだりしてると大変怒ります。けれども父は分からないところはずぐに教えてくれます。怒られている時はとっても嫌だけれど、教え方がうまく間違ったところがすぐに分かるので、これが愛情なんだとやっとなんてわかってきました。

ここまで支えてくれた父と母と姉に感謝して、これからも空手を続けてゆきたいと思います。